

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年2月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104373
法人名	社会福祉法人 恵会
事業所名	グループホーム はっぴー
所在地	鹿児島市下福元町9558番地27 (電話) 099(262)5505
自己評価作成日	平成28年11月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年12月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①菜園や花壇をご入居様と職員と一緒に世話し、季節を感じ収穫を楽しんでいます。
- ②ご入居様が個別的に朝・昼・夕の散策を日課としています。
- ③濡れ縁や庭でのお茶会や食事会を行っています。
- ④毎月ホーム便りを発行しご家族様にホームでの様子を報告しています。
- ⑤猫を飼いアニマルセラピーを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○管理者及び職員は、理念や年度目標に沿って、併せて月毎の努力目標も掲げて、利用者の尊厳や誇りを大切にしながら想いの把握に努め、住み慣れた地域でその人らしい生活が過ごせるよう日々取り組んでいる。ケアの内容ごとの手順や留意事項を定めた手引書「ご入居者のプライバシー保護」や「ハッピー園職員心得帳」を全職員が必携して、人格の尊重やプライバシーの保護に配慮したケアに努めている。また、事例に基づく研修や振り返りを行ってサービスの質の向上に努めている。

○ホームは、市街地から少し入った自然豊かな静かな地区の広大な敷地の中に、同法人の特別養護老人ホームや有料老人ホームなど多種の関連施設と共に設置されており、運営委員会や課長会議等で事業所間の情報の共有を図り、職員の研修、防災訓練、運動会や夏祭りなどイベントの開催に一体的に取り組んでいる。また、緊急時の対応等の協力体制も構築されており、利用者に対しても、法人全職員で思いやりに満ちた見守りや声掛け、寄り添う姿勢に心がけて利用者の安心感と信頼感に繋がっている。

○管理者は、日頃から要望や意見等の把握に努め、出された課題に対しては速やかに職員全体で話し合っ改善を図っており、職員及び家族等は意見や要望等を気軽に述べたり協議できる体制が築かれている。また、職員のスキルアップにも熱心に取り組んでおり、日々のケアの中での助言・指導に加え、計画的な研修の実施や、外部主催の研修への積極的な参加、資格取得へのバックアップなど細かに配慮し、信頼と協力体制を構築した働きやすい職場環境づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営 (A棟)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着の理念を盛り込み、目のつく場所に掲示し、常に理念を意識して処遇を行い、スタッフ会議や申し送り等で共有している。	法人の共通の理念及び年間目標、毎月の努力目標をリビングや事務室など目に付きやすい場所に掲示して、利用者が地域や家族と関わりながら平穩に楽しく過ごせるように思いやりを持った支援に努めている。理念や各目標については、スタッフ・処遇会議や毎日の申し送り時に研修やケアの振り返りを行って意義の理解を深め、ケアへの反映に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣に民家が少なく、地域とのつながりは難しいが、近所の店を利用したり、母体の特養やデイサービスの行事、夏祭り等で交流を持てるようにしている。	法人全体で地域との交流に取り組んでおり、運動会や敬老会を開催している。特に園庭での夏祭りには約1,500人の参加があり、地域住民の楽しみや交流の場にもなっている。ボランティアや施設研修、中学生の職場体験、実習生等を積極的に受け入れている。また隣接のデイサービスの利用者とは日常的に交流し、友人知人の面会や農産物を頂くなど、円滑な交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人全体ではっぴーファンクラブの活動や年2回の協力相談会を通じて地域の方と関わりを持っている。見学の方や入居申し込み時に認知症の方の支援方法を説明し理解をいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族様全員と長寿安心相談センター、民生委員の方に開催案内を行い、2カ月に1回開催している。それぞれの立場からの意見・情報交換の場となり、サービス向上に取り組むようにしている。	会議は利用者や家族、民生委員、行政や包括支援センターの職員の参加を得て、定期的開催している。ホームの現況や行事・事故等を報告し、問題点・課題等について意見交換を行っている。また委員からは地域の情報やケアの方法、感染症、防災に関する質問や意見が活発に出されている。職員は会議の内容を共有しサービス向上に活かしており、利用者の家族にも会議録のコピーを送付してホームや利用者の現況について共有を図っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	書類提出等でコミュニケーションを取っているが十分とは言えない。生保の方の受け入れを行っており少しではあるが連携を以前より図るようになってきている。	地域包括支援センター職員には運営推進会議に出席して貰い地域の高齢者の状況に連携した対応を行うと共に、市担当職員とは介護保険の更新や諸手続き及び各種の報告等の際に運営やケアに関する相談や協議を行って、助言・指導を頂くなど密に連携を図って利用者のサービス向上に取り組んでいる。また市が主催する会議や研修会にも積極的に参加して情報や意見の交換を行うなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っていない。勉強会を通して意識を高めている。日々のケアの中でも拘束を意識しながら業務を行い、迷った時には皆で話し合うようにしている。個々の状態に合ったケア、見守りを行っている。	マニュアル「身体拘束廃止に関する指針」を整備し、法人全体の研修やホーム独自の勉強会で拘束しないケアの認識と実践に取り組んでいる。昼間は居室や玄関等の施錠は行わず、職員は連携して利用者の見守りや声かけ、寄り添いに努めている。特に言葉による拘束の防止については日々のケアの振り返りや事例を参考に日常的に意見交換等を行い、利用者の安全確保や自由な暮らしを支援するケアを実践している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的にスタッフ会議にて勉強会を行っている。資料を使い具体例を通して理解しやすいようにしている。職員間で注意し合い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修に参加を行い、ホームで勉強会を実施している。理解を深めるための機会を増やして行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご入居者様・ご家族様が不安にならないよう契約、解約時には時間を十分に取って、説明を行い理解、納得して頂き同意を得ている。改定時には都度説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や面会時に意見や要望を気軽に言えるような雰囲気作りを行ったり、ご家族やご入居者にアンケートを行い運営に反映されている。玄関入り口に意見箱を設置し、ご意見・ご要望等を書いて頂くようにしている。	利用者の意見や思いは日常のケアの中での会話や表情、所作等から把握し、家族とは来訪時の対話や年1回無記名式のアンケートの実施・電話等により把握に努めている。内容は「連絡帳」や「支援記録」等で共有を図り、職員全員で対応を話し合っ改善に取り組むなど、サービスの向上に反映させている。改善の経過や結果については本人や家族にも報告して理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の処遇・スタッフ会議で意見交換を行ったり、日頃のミーティング等でも気軽に意見や提案できるようにし、反映させている。</p>	<p>管理者は、日常的に職員の状況把握と話しやすい雰囲気づくりに努め、日々のケアの中や申し送り、毎月のスタッフ・処遇会議時に職員の意見や提案を聞き取ると共に、必要に応じて個別面談の場も設けている。出された意見や提案等は、職員全員で協議して具体的に職員のスキルアップや業務改善、ケアの向上等につなげるように取り組んでおり、勤務シフトや外部研修受講等についても職員の意向を確認して可能な限り希望に添うよう努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の人事考課を実施。自己評価をもとに面談を行い職員の意向や相談を受けながら向上心を持って仕事できるように働きかけている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修会・勉強会に積極的に参加させている。毎月のスタッフ会議では担当者を決めて勉強会を行っている。日々の業務でもそれぞれに担当を決めて行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の会員登録を行っている。ケアマネ研修に参加しネットワーク作りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (A棟)					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居者様が自分の思いを率直に言えるような声掛け、環境作りを行い、本人のペースで生活できるように、積極的にご入居者様と関わりを持ち信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム見学時から入居までに居宅のケアマネを含め話し合いの場を設け、ご家族様が納得、安心されるように話を傾聴し、信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用できるサービスやできないサービスについて説明し、ホームで快適な生活が送れるように、ご入居者様やご家族様の意向や願いに添えるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様の気持ちを第一に考え、喜びや悲しみを理解しながら寄り添い共に支え合う関係に慣れるように努めている。できる部分、できる事を無理のないように行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご入居者様の様子や変化を随時ご家族に連絡、相談しながらご入居者様のためにとの思いを共通認識し、協力体制を常に取りご家族様との良い関係が築けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービス、ショートステイの利用者との交流を図ったり、ご家族、友人等との交流を持てるようにしている。電話の取次ぎや手紙の代筆を行い、交流が持てるように支援している。	利用開始時に本人や家族、関係機関から、生活歴、病歴、家庭環境、地域との交流状況、趣味、嗜好等を聞き取り、「基本情報」に整理して情報を共有している。家族や友人の来訪時にはゆっくり話せる場やお茶を配慮したり、本人の希望に沿って墓参りや美容室、買い物、一時帰宅、外食等、馴染みの人や場との関係が途切れないように家族と連携して支援している。遠方の家族とは機関誌の送付や電話、手紙の取り次ぎにより関係性の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様同士が一緒に生活する仲間として受け入れ支え合うような環境作りに努めている。ご入居者様の状態を把握して、他者との交流を工夫している。A棟・B棟気軽に行き来できるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院に伴い退去されても医療機関への訪問を行い、本人の状態を職員間で把握している。母体の特養やショート・サンヒルズへ移動された時は職員間で情報交換や連携を図っている。ご入居者様、ご家族様が不安にならないように関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (A棟)					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で聞き逃さないように努めている。思いを伝えられないご入居者様には簡単な質問や表情から察するようにしています。日誌や日々の記録に残すようにしている。	日々のケアの中で、利用者の思いや希望の把握に努め、尊厳やプライバシーに配慮しながら本人主体のより良い暮らしが営めるように家族とも連携して取り組んでいる。趣味(書道や読書、折り紙、お絵かき等)の取り組みや余暇の過ごし方についても、家族と協議しながら可能な限り本人の希望を尊重した個別の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント定期的に行い、職員間で情報の共有を図っている。日頃の会話や日常生活の中からアセスメントを行い情報共有に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者様の生活、心身状態の変化の「気づき」を記録に残し、ホームでの生活が継続できるよう、できる事、以前よりできない事を職員が把握し支えていけるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のミーティング、処遇会議で意見を出し合いご入居者様本人がより良く生活できるように努めている。ご入居者、ご家族、主治医、看護師と話し合い、得た情報を介護計画、モニタリングに活かしている。	本人・家族の意向及び主治医を始めとする関係者からの情報を基に、利用者の状況に応じたより良い暮らしが出来るように介護計画を作成している。ケアの状況は「日誌」や「支援記録」等に詳細に記録され、毎月実施のモニタリングや3か月毎の評価、サービス担当者会議で協議して介護計画に反映させている。利用者の状況変化に対しても実状にあった計画の見直しや修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録システムや日誌を活用し、日々の体調の変化や生活状況を入力する事で情報の共有に努めている。ご入居者様の言葉や言動をそのまま言葉で具体的に記入している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご入居者様、ご家族様の状況に応じて受診の送迎、付き添い等必要な支援を行っている。また相談されたことなど主治医や看護師、園で検討し皆で支えるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの協力を得て話し相手、園外活動を行っている。消防訓練等を行っている。運営推進会議に参加して頂いている。資源活用が十分とは言えない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者様、ご家族様の希望する主治医となっている。ご入居者様の近況や状態を随時伝え、情報の共有に努め連携を図っている。	入居時に病歴やかかりつけ医を把握し、本人や家族が希望する数か所の医療機関で治療しており、通院には家族と職員が協力して同行している。また、3医療機関からは月2回訪問診療も実施され、協力医療機関は毎週看護師を派遣して、健康管理を実施している。往診や時間外の受診など病状に応じて対応して貰えるなど医療連携の体制が構築され、受診の状況は詳細に記録され、家族とも連絡を取り合って共通の認識と対応を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に看護師による健康管理が行われ、異常の早期発見に努めている。ご入居様様の体調に変化が生じた際は速やかに管理者に報告し、委託病院に連絡を行い、指示を受けるよう体制が整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご入居様様の主治医との情報交換を定期的に行っている。入院した際には病状の確認を医療機関とこまめに行っている。ケアプランや必要な情報提供を行い、SWとも密に連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご入居様様またはご家族様がホームでの看取りを希望された場合は、終末期のあり方について説明を行い、同意を得た上で受け入れている。</p>	<p>「重度化した場合における対応の指針」を整備し、利用開始時に重度化や終末期における介護の対応を説明して理解を得ている。重度化した時点で主治医より病状の説明があり、家族の意向に添って可能な限りの介護に取り組んでおり、これまでに十数人の看取りを実施している。今後も看取りの希望には、訪問診療や訪問看護を活用するなど医療機関と密に連携を図って積極的に取り組む意向であり、職員の介護技術のスキルアップや精神的負担の軽減のための勉強会も実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを目につく場所に置き慌てずに対応するように努めている。勉強会や対応の確認を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>全部所合同で消防署立会いのものと消防訓練、避難訓練、通報訓練を行っている。災害の際のマニュアルをもとに対応できるように確認を行っている。</p>	<p>夜間想定を含む火災、地震、台風時の通報、避難、消火等の訓練を消防署も参加して法人全体で年2回実施しており、同法人の事業所との協力体制も構築されている。法人全体の研修に加え、ホーム独自の勉強会で認識を深めている。スプリンクラーや自動通報装置等が整備され業者による器具の定期点検も行われている。災害時の飲料水や保存食品は法人で備蓄し、懐中電灯やカセットコンロ、ラジオ等もホームで整備されている。隣接の特別養護老人ホームが地域の避難場所となっており、昨年桜島の噴火レベルアップ時には避難住民を受け入れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (A棟)					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様お一人おひとりの個性に合わせ、人格やプライバシーを損ねない声掛けや対応を行っている。ミーティングでも確認をしている。	利用者の人格や誇りを損ねるような言葉かけや対応を行わないために研修の実施や日々の支援の中で職員間で注意し合う等、常に意識して実践に取り組んでいる。排泄や入浴、衣服の着脱時の支援が適切な対応になるように定めた指針「ご入居者のプライバシー保護」を作成し全職員が必携して適切なケアに努めている。利用者台帳の管理にも十分配慮して取り扱い、居室や浴室、トイレ等はプライバシーが確保された構造となっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様の希望があれば、状況に応じて可能な限り希望に添うように努めている。自己決定できるよう声掛けや対応を工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合を優先するのではなく、ご入居者様のペースに合わせてケアを行うように努めている。行動を阻害しないように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎朝・夕普段着、寝間着への更衣を行っている。化粧やマニキュア等希望により行っている。定期的に移動美容室を利用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	残存機能を活かしながら、ご入居者様のペースで食事を楽しんで頂けるよう支援している。法人の管理栄養士の協力を得て栄養面も工夫して提供している。片づけや食器洗い等できる手伝いを行って頂いている。	身体状況に伴う食事制限や栄養バランスに配慮したメニューを法人の管理栄養士が作成し、昼、夕食は法人全体で一括調理されている。誕生日会、クリスマス会等の行事食や手作りのおやつはホームで対応しており、利用者の希望する食事の提供に努めている。また利用者も下ごしらえや下膳を手伝う等、食に対する関心を持って楽しみながら行っている。弁当持参の外出やレストランでの外食、園庭やウッドデッキでのお茶など家族と協力して食事がより楽しみなものとなるよう様々な工夫がなされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日 食事量、水分摂取量を記録に残し、バランスよく食事、水分を確保できるように努めている。摂取の少ない方には内容を工夫し、召し上がって頂けるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、ご入居者様の口腔状態に合わせて口腔ケアを行い清潔に努めている。義歯は夕食後に毎日義歯洗浄剤にて洗浄している。歯科医と連携を図り口腔ケアの管理を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を記入し、一人一人の排泄状況に合わせて、できるだけトイレでの排泄が自力で行えるように支援している。	利用者の見守りやバイタルチェック表で、排泄パターンの把握に努め、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者個々に合った介護用品やケアの方法の工夫を介護計画に反映させて改善に努めており、トイレ誘導や汚した衣服の交換に際しては、特に利用者の気持ちやプライバシーに配慮してケアしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為に水分量の調整や食物繊維の多い食事やおやつを提供するなど工夫している。オリゴ糖や芋パウダーを利用したり、体操を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴前に体調のチェックを行い、希望に沿った入浴方法を行っている。お湯は一人一人入れ替えている。ご入居者様の希望に応じて職員の介助は男性、女性選べる形にしている。	入浴は週2回が基本であるが、排せつの失敗等には随時清拭や入浴で清潔を保持し、予定外の入浴希望や午後入浴希望にも体調に配慮しながら柔軟に対応している。利用者の好みの温度や時間に配慮してゆっくりした気分で個浴を楽しんでいただき、身体の異常の観察や皮膚疾患の手当も行ないながら親密なコミュニケーションの場にもなっている。入浴を拒む利用者には無理強いしないで、声掛けや時間、スタッフの変更など工夫して、入浴への意向を待つようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯、起床時間をその日のご入居者様の体調、睡眠状態に応じて検討したり、居室やソファにて過ごして頂くよう工夫している。消灯までにゆっくり過ごせる時間を作っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	投薬時は職員二人にて目視、読み上げ確認を行っている。薬についての勉強を行い、変更時は申し送りを行い周知している。薬剤師と連携を図り、ご入居者様に合わせた性状にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ご入居様様の好きな事や興味を理解し、音楽鑑賞、カラオケ、手伝い、散歩、色塗りなど一人一人に合った過ごし方ができるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご入居様様の体調、意向を考慮してホーム周辺を職員と話しながら散策したり、定期的に園外活動を行っている。ご家族様の協力を得ながら外出支援の機会を作っている。</p>	<p>利用者の健康状態や天候に配慮しながら、本人の希望に沿って散歩や買い物・ドライブ、墓参り等を、家族の協力も得ながら外出を支援し、また初詣や季節の花見、レストランでの外食などホーム全体での外出計画も作成して支援している。居室から自由にウッドデッキに出て草花を愛でたり、広い園庭を散歩して隣接の事業所の利用者との交流を日常的に楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人での金銭管理は行っていない。小口現金をお預かりし買い物や外出した際に、職員付き添い、見守り行いお支払いをして頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙の代筆や自分で書かれた手紙の発送、電話の取次ぎを行っている。ご本人の希望があればいつでも電話できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を食堂や玄関に飾り、通路や各部屋には写真を貼る等温かい空間になるように努めている。ご入居者様が自由に動けるような空間作りを行っている。温度計、室温計にて室温調整を行い快適に過ごせるように努めている。	廊下やリビングは余裕のある広さで、天井が高く高窓のある構造となっているため、とても明るく、また利用者の作品やイベント時の写真、生花、季節に応じた小物等が随所に飾られ、適温や異臭にも十分配慮されて、清潔で落ち着いた雰囲気となっている。リビングにはソファやテーブルセット、テレビ等が余裕を持って配置され、畳敷きの「集いの間」には炬燵も作られており、利用者は好みの場所で寛いで過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下や食堂、集いの間にはベンチやソファを設置し、ご入居者様同士でもおひとりでも過ごせるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の馴染の物を置いて頂いたり、好きな物を置いて明るく清潔な居室になるようにしている。手紙や写真、本人の作品等を飾ったりしている。	余裕のある居室はフローリングと畳部屋の2種類があり、利用者の身体状況や好みに配慮されている。清掃や整理整頓も十分で衛生的で、掃出し窓仕様にウッドデッキが設置され、ベッド、エアコン、小タンスが備えてある。家庭と同様に落ち着いて過ごせるように仏壇やテレビ、家族写真、使い慣れた家具、食器、小物等を自由に持ち込んで、その人らしい和やかな空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居者様と一緒に作業しやすいようにまた、車椅子でも自由に往来できるようになっている。居室でも動きやすいように家具等を配置している。廊下の障害物を少なくしている。		

V アウトカム項目 (A棟)

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営 (B棟)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念を目のつく場所に掲示し、業務の中で理念に沿ったケアを意識しスタッフ会議やミーティング等で職員間で共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体の特養やデイサービスの行事に参加し、交流の場を増やしている。園外活動で地域に出向いたり、近隣の店を利用している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	見学や電話等での問い合わせがある時など認知症の方への支援の方法を説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族様・長寿安心相談センター・民生員の方に案内し、2カ月毎に開催している。スライドショーにてホームの様子を紹介している。意見交換を行いサービスに反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	書類提出等で連携を図っているが、十分とは言えない。時々ご家族様になり連携を図る事もある。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っていない。勉強会を行い、意識を高めている。日々のケアでも疑問に思う事は声掛けしたり、職員間で話し合い常に拘束について意識している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料を用いて定期的に勉強会を行い、意識を高めている。日々の業務の中でも常に意識し、ミーティング等でも話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会参加や勉強会を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご入居者様、ご家族様が不安にならないように、十分に時間を取って説明を行い、理解、納得して頂いている。説明等もわかりやすい言葉で説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご入居者様・ご家族様が話しやすい雰囲気作りを心がけている。定期的にアンケートを行い運営に反映させている。玄関に意見箱を設置しケアや運営に反映させている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>処遇・スタッフ会議にて運営に関する意見交換を行っている。日々の業務でも気軽に意見を言えるようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の人事考課を実施している。自己評価をもとに個人面談を行い、スキルアップへの助言を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修会、勉強会に積極的に参加を勧めている。毎月のスタッフ会議では担当者を決めて勉強会を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>勉強会や研修会への参加を勧め、交流の場を持てるように努めている。グループホーム協議会へ登録している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (B棟)					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	何気ない会話の中からお入居者様の困りごとや要望を聞き取れるように、コミュニケーションをこまめに取り、ご本人のペースで生活できる支援し信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	居宅のケアマネを含めて話し合いの場を設け、ご家族様が納得、安心されるように話を傾聴し信頼関係作りに努めている。早急ではなくゆっくりと時間をかけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様が何を必要としているかを職員皆で考えている。ニーズに対してどう支援していくか考え計画を立て実行していくように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様と介護職員が対等な関係である事を意識し、ともに過ごし安心して生活できるような関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時にご家族様とゆっくり話す時間を作るようにしている。ご入居者様の状況を伝えともに支えるようにしている。話をしながら生活歴等を聞き、思いや願いを汲み取るようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居者様の馴染みの関係を大切にし、できるだけ今までの生活に近い状態を保てるようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様一人ひとりの性格等を考慮し、孤立せず寂しさを感じさせないように職員間で話し合いご入居者様同士の良い関係が築けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同敷地内に特養やショートステイがあり移行される方が多い。会いに行ったり、情報交換を行っている。終了後も気軽に話ができるような声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (B棟)					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向や暮らし方の希望を聞き、困難な場合は本人の気持ちに寄り添い把握、検討している。生活歴や性格等を理解するようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報としてご家族様やご入居者様に記入して頂いて把握に努めている。入居後はこまめにコミュニケーションを取り情報を量を増やしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人おひとりの生活状態を把握し、職員同士で情報を共有している。病歴や病状等を把握し生活リズムを考えている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご入居者様の意向を大切に、ご家族様、主治医、看護師等と意見交換行っている。ミーティングや処遇会等で職員間で話し合い介護計画を作成している。モニタリングを意識した記録に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の記録はちょうじゅを活用し、申し送り帳やメール等にて情報の共有に努めている。気になる事はミーティングにて話し合いケアや介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご入居者様やご家族様の状況に応じて通院送迎、薬受領、買い物などの支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>デイサービスや園を通してボランティアを活用している。マッサージ、舞踏、フラワーアレンジメント、話し相手等ご入居者様の状態に合わせて行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族様の希望による主治医である。必要に応じて状態報告を行い、受診・往診を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご入居者様の状態を観察し看護師に報告・相談行い、適切な受診、看護が受けられるようにしている。状態に応じて助言・指導等を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には必要とされる情報を提供し、意見・情報交換等行っている。ケアプラン等の提供している。相談員を通して早期退院できるように意見交換行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居者様・ご家族様に終末期における意向を早いうちに聞き取り、ホーム・医療機関と共に方針を共有している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し目につく場所に掲示、迅速に対応できるようにしている。勉強会や研修を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人全体で消防署の指導のもと、消防訓練を行い消火訓練、避難訓練、緊急通報の訓練を行っている。他部所との応援体制もとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (B棟)					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様の尊厳を大切にし、プライドを傷つけない声掛け対応を行っている。ご入居者様の性格や好きな事を把握するようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様が思っている事や希望を言いやすい環境作りや声掛けに心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様のその日の体調や状態を見ながら、笑顔で楽しく過ごせるように心がけている。それぞれのご入居者様に合ったペースで過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	希望に応じてマニキュアや髪染めを行ったり、移動美容室を利用してカットやパーマができるようにしている。TPOに合ったおしゃれを勧めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の味見をして頂いたり、一緒におやつ作りを行っている。ご入居者様の好みを把握したり、その方に合った食事形態で提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご入居者様のお一人おひとりの状態を把握し、食事量・水分量をそれぞれに合った形で提供している。(トロミ、ゼリー等)		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い口腔内を清潔に保つように努めている。その方に合った口腔ケアの道具を使って行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご入居者様が排泄について要望を言いやすい環境を作り、安心して排泄できるように支援している。排泄パターンを把握してトイレでの排泄が続けられるように支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳やヨーグルト提供したり、芋パウダーやオリゴ糖を利用している。緩下剤の利用についてもご入居者様に合う薬を合う状態で使用するよう主治医や薬剤師と連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご入居者様の体調や状態に合わせて行っている。希望やタイミングに合わせて楽しむ事ができるように支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人に確認し希望により居室にて休んで頂いている。安心して休めるような環境作りを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご入居者様の薬の内容、時間を理解している。変更ある際はミーティング等にて情報共有している。投薬の際は職員二人で確認し確実に投薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者様のできる事を優先してそれぞれに合った手伝い等を行って頂いている。本人が楽しみながらできるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気や体調を見ながら散歩を行い、日課となっている。ご入居者様の意向や体調を考慮して園外活動や外出の内容や場所を決めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご入居者様本人がお金を持つ事の大切さを職員は理解し、ご入居者様の能力に応じて支払等の支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の取次ぎ、手紙の代筆等行いやり取りができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内は季節に応じた飾りつけをしたり、ご入居者様の作品や写真を飾るようにしている。トイレには必要以外の物置かないようにし、場所によっては暗めの照明にしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>カウンターや集いの間、濡れ縁で一人や数人で過ごしたり、隣の棟へ行ったりしている。ご入居者様の希望に添うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人やご家族様の希望により馴染の物を置いたり、配置を変えたりしている。ご家族様の写真を貼り居心地良く過ごせるようにしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレは車椅子用と一般用に分かれており、ご入居者様に合わせて使用している。廊下には物を置かず、往来しやすいようにしている。</p>		

V アウトカム項目 (B棟)

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない